

歴史資産の保存と活用—八幡市でのフィールドワーク



DATA

● 主な連携先・メンバー

八幡市役所／
一般社団法人 八幡市観光協会

● 活動地域

八幡市域

● 活動資金

教員研究費／学生負担

活動の目的

- 1 | フィールドワークによる多様な地域課題の理解
- 2 | 卒業論文・卒業研究の課題決定
- 3 | 進路決定の動機付け、資料

連携にいたる経緯

教員が市の付属機関の委員を務めたことをきっかけにしたもの。

活動内容

橋本ゼミでは、専門演習1・2を中心にして、座学以外にもフィールドワークを活動内容としている。現在は京都府八幡市とその関係団体のご協力をいただき、コミュニティバスなどの行政課題の解決や地域活性化を目的にした観光振興など、八幡市全域を対象として多面的な学習を行っている。2017年6月3日には市職員にご同行していただき、中心部にある男山の周囲を一周して豊富な歴史資産を見学した。各施設で貴重な文化財を拝見するとともに、維持保存のご苦勞をお聞かせいただいた。観光用に施設を開放すると人員手配と管理維持の両面で家族中心の小規模な管理体制では追いつかなくなるとのお話が印象に残っている。その後「地域に残された豊富な歴史資産をいかに活かすか」をテーマに数班に分かれてグループ研究に移行し、夏の高岳館での合宿で研究成果の中間報告会を行った。また11月5日には八幡市が企画されたレンタサイクルを利用した観光モニターツアーにゼミから数名が参加し、コース設定についての意見交換会に参加させていただいた。



活動の成果

- 1 | 地域が置かれる現状の理解を深めることができた
- 2 | ゼミ活動の成果を中間報告の形で地域の関係機関に提供した
- 3 | 観光モニターツアーに参加して意見を提出した

今後の課題・目標

- 1 | 八幡に新たに結成されたまちづくりを目的とする一般社団法人と連携して、活動内容を充実させる
- 2 | 環境を異にする他の地域にも活動を広げる
- 3 | 学生が地域から学ばせていただく一方向型の活動だけでなく、学生が主体となって政策提案や行事への参加、社会的な貢献活動を行うなどの双方向型の活動に変えていきたい

● 教員紹介



政策創造学部 教授 **橋本 行史**(はしもと こうし)

地方行政、地方財政、地域産業を研究の専門領域にする。地方の行財政改革のほか、最近では地域活性化やまちづくりを対象に研究と社会活動に取り組んでいる。